

令和元年8月26日

由仁町議会

議長 熊 林 和 男 様

産業厚生常任委員会

委員長 大 竹 登

産業厚生常任委員会道内行政視察報告書

本委員会は、道内行政視察を次のとおり終了したので、由仁町議会会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 視察事項

- ・美瑛町における六次産業化の取組について
- ・北竜町における買い物弱者対策について

2 期 日

令和元年8月22日（木）・23日（金）

3 視察地

上川管内美瑛町・空知管内北竜町

4 派遣議員

大竹 登・大畠 敏弘・早坂 寿博
議長 熊林 和男

5 随行職員

議会事務局事務担当主査

6 視察内容

別紙のとおり（報告書文責 委員長 大竹 登）

視察先 美瑛町
調査事項 美瑛町における六次産業化の取組について
日 時 令和元年8月22日(木) 午後1時30分～
場 所 役場4階 第2委員会室 美瑛選果現地説明
説明員 美瑛町議会議長 佐藤晴観 町議会事務局長 新村猛
美瑛町農林課農業振興係 係長 斉藤優太、主事補 田中佑奈
株式会社美瑛選果営業部長 加藤正樹

<視察内容>

美瑛町の平成30年の耕地面積は12,600haです。人口は1万人を若干下回ったところで、昭和30年代の2万人台から半減しているということでした。耕地面積・人口とも由仁町の2倍程度という印象でした。

農作物生産量生産額は小麦、馬鈴薯、てんさい、小豆など畑作物が基幹産業で、野菜29億円、馬鈴薯10億円、水稻9億円、小麦5.4億円などで約67億円。肉畜約18億円、生乳約27億円を含め合計で112億円ということで、耕作面積に比べ大変苦勞をしている感じを受けました。

一次産業から農・商・工・観光とバランスの取れた六次産業化をめざし、観光客数では平成15年度の128万人から平成30年には226万人と約100万人増えていますが、その大部分は日帰り客の増加で、宿泊客は増えておらず新たな課題となっています。

街並み景観はすっきりと美しく、観光都市化を目指している印象でした。商業は商店数88店舗、従業者530人、売上高194億円で観光客の増加による効果が反映されているようでした。

<美瑛選果の取り組み>

美瑛町六次産業化の拠点として平成19年5月美瑛選果オープン。23年7月美瑛選果新千歳空港店オープン。25年10月美瑛小麦工房オープン。26年4月株式会社美瑛選果を設立し運営を委託。

総工費3億円をかけ、

・選果市場 ・選果工房 ・レストラン ・駐車場 などの施設を整備した。

<視察を終えて>

六次産業化を目指す熱意が伝わってきた視察でした。農・商・工・観光協会・美瑛選果・道の駅とそれぞれの役割分担と連携に力を入れ、本町地区商店街のシャッター化が無いのが印象的でした。

視察先	北竜町
調査事項	北竜町における買い物弱者対策について
調査日時	令和元年8月23日(金) 午前10時～
場 所	北竜町商業活性化施設 COCOWA
説明員	北竜町議会議長 佐々木康宏 町議会事務局 庶務係橋本僚太 北竜町企画振興課長 南波肇

<視察内容>

北竜町の概要 耕地面積は約3,160haと由仁町耕作面積の半分強、稲作面積は1,900haでほぼ由仁町の水稲耕作面積に匹敵します。人口減により2019年8月1日現在で1,826人と2,000人を割っています。65歳以上の高齢者人口は43.5%となっています。

平成31年4月の一般会計予算は37億9千万円。特別会計7会計で15億1千万円となっています。議会は定数8名で常任委員会は1つで、議会費は一般会計予算の1.3%ということでした。報酬は議長で26万8千円。副議長21万2千円。委員長19万4千円。議員17万7千円。

北竜町は、町の活性化と健康増進、環境美化を兼ねた取り組みとして、ひまわりの里を中心にまちづくりを取り組んできています。一方購買人口の減少により平成25年11月JAからのAコープ北竜店閉店について話がありました。

※ 北竜町商業活性化施設整備事業

平成26年より町民アンケートの実施や懇談会開催。27年度から町内業者にテナント検討と打診を行ってきたが出店には至らなかった。また、並行して道北アークスともテナントを検討してきたが28年3月道北アークスより出店断念を通知された。

代替りの対応として商品納入についてコープさっぽろとの協議、商業活性化施設整備事業専任チーム発足。JAきたそらちとの協議(Aコープ、ATM)、北竜町商工会との協議を経て、平成29年7月経済産業省の支援事業として認可された。

事業交付の決定を受け、直ちに建設工事着工、北竜町商業活性化施設COCOWAに名称決定。平成30年4月オープンした。

施設はスーパーマーケット、コミュニティスペース、キャッシュサービス、観光案内コーナー、支えあいセンター多目的スペースとして活用されている。総事業費は約3億8千万円。うち補助金は約8千万円である。

以上、産業厚生常任委員会道内行政視察報告といたします。

(報告書文責 委員長 大竹 登)